

月

Gessin
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

信



9月号 No.4
SEPTEMBER
2023

ロータリーの偉人④

Harry L. Ruggles

ロータリーソング提唱者 ハリー・ラグルス

印刷業のハリー・ラグルスはポール・ハリスの紹介で第2回例会より参加。後にスローガンをもたらしたアーサー・シェルドンや初代事務総長のチェスリー・ペリーの紹介者となります。ロータリークラブに奉仕の概念が持ち込まれた当時、推進派と反対派の論争が頻発しており、論争を緩和する目的で例会中に全員で歌を歌うことを提唱し自ら音頭をとりました。これがロータリーソングのはじまりで、会員の親睦を取り戻すのに大きく貢献しました。

〈2023-2024年度 第2700地区ガバナーメッセージ〉

ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう

国際ロータリー第2700地区ガバナー

吉田 知弘 (福岡東RC)



2023-2024年度国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう



「基本的教育と識字率向上月間」 に向けて

国際ロータリー 第2700地区

ガバナー 吉田 知弘 (福岡東 RC)

7つの重点分野と奉仕プロジェクト

ロータリーでは月ごとに特別月間の指定があり、その多くはロータリーの「7つの重点分野」に即してテーマが設定されています。この重点分野は、クラブがロータリー財団のグローバル補助金を利用する場合の要件とされるなど、奉仕プロジェクトを企画する際に重要な指標となるものです。9月はこのうちの一つ、「基本的教育と識字率向上」のテーマにフォーカスされます（9月8日は「国際識字デー（1965年ユネスコ制定）」でもあります）。

基本的教育と識字率向上の意義

世界的にみれば、読み書きのできない15歳以上の人の数は、世界に約7億7500万人とされます。これは、全世界の成人の17%にあたります。しかも、学校に通っていない子どもは世界に6700万人いると言われています。地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高められるよう支援することが、ロータリーの目標とされています（2022年8月31日版「基本的教育と識字率向上月間リソースのご案内」／国際ロータリー日本事務局作成）。

「基本的教育と識字率向上」の目標について

国際ロータリーが作成した「重点分野の基本方針」（2021年7月）には、以下のとおりコメントがあります。原文のまま紹介します。

基本的教育と識字率向上

ロータリーは、すべての子どものための教育を改善し、子どもと成人の識字率を高めるための活動と研修を支援します。

この重点分野の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような活動によって、すべての人が基本的教育を受け、識字力を得られるようにするための、ロータリアンによる以下のような活動を支援します。

1. 基本的教育と識字能力をすべての人びとに与える地域社会の力を高めるプログラムの支援。
2. 成人の識字率の向上。
3. 教育における男女格差を減らすための活動。
4. 基本的教育と識字率向上に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。

私たちが心掛けるべきこと

さて、以上の説明を踏まえて、皆さんはどのようなことをお感じになるでしょうか。

これは、7つの重点分野の大半について言えることですが、どのテーマも低開発国や紛争当事国に関わることとしては理解できても、先進国に暮らす我々にはあまり身近なこととして感じられません。とりわけ奉仕プロジェクトのテーマとして捉えるときには、これがグローバル補助金の要件とされることもあって、国際奉仕に関わる大掛かりな奉仕プロジェクトの問題として捉えられ、身近な奉仕活動としては縁遠いものを感じられがちであることでしょう。

そこで、ここでは、2つの切り口を示唆しておきたいと思います。

その一つは、子どもの貧困や家庭生活の問題と関連付けてみる視点です。わが国では義務教育が保障されており、全く文字の読書きができない子供は稀であるはずですが、しかし、就学の機会そのものを奪われるわけではなくても、低所得世帯に生まれ育ったために学用品さえ満足に揃えられず、日々の学習習慣からも疎外されて、能力や資質に恵まれていても十分に学力や思考力を伸ばせないまま、進学の機会から疎外されてしまう子どもは、我々のごく身近なところにもたくさんいます。これは貧困の問題と根を同じにします。彼らの学びや学習(補習)のために、我々にできる支援を工夫できないでしょうか。

あるいは、家族の介護負担等のために普通の就学生活が営めず、進学や就職の機会を閉ざされてしまう「ヤング・ケアラー」の問題なども、同じような視点か

ら捉えられるかもしれません。

このような子どもたちを適切に支援して大学への進学率等を高めていくことができれば、彼らを頼もしい社会の担い手へと変えていくことができます。

また、更に視野を広げ、より高い学力や思考力を育て、広い社会的視野を与える活動と捉え直してみれば、身近な子どもたちに対する支援の内容はもっと豊かなものにできるはずです。ここに二つめの視点があります。

たしかに、「基本的教育と識字率向上」といえば、国際奉仕(低開発国支援)が主な対象分野となることは間違いありませんが、その点だけに目を奪われず、広い視野をもってアイデアを練ることを忘れないようにしてください。

むすびとして

ロータリーボイスには、「基本的教育と識字率向上月間」に関連する活動として、東京府中ロータリークラブの作文コンクールの開催支援活動なども紹介されています。奉仕活動の分野は「国際奉仕」ではなく「社会奉仕」に区分されています。このような活動をみれば、あまり構えずに取り組める活動であることも理解されるでしょう。

本稿が皆さまの目に届くころには、最新版(2023年8月版)のリソース集がお手元に届くはずですが、また、ロータリーショーケースには、参考となる様々な活動のアイデアも掲載されています。マイロータリーからアクセスして、是非クラブ内での立案に役立ててください。皆様の豊かな発想力に期待しております。

『ロータリーの友』委員会 地区代表委員からのお願いとご報告

ロータリーの友地区代表委員 梅原 健 (福岡東RC)

お願いはただ1つ、「ロータリーの友」を是非お読みください。

2023～2024年度の2700地区「ロータリーの友」地区代表委員(以下、「地区代表委員」と言います。)を拝命いたしました福岡東ロータリークラブの梅原健と申します。この場をお借りして、地区代表委員の仕事内容のご紹介と去る2023年7月1日に行われました、地区代表委員・『友』事務所合同会議のご報告、そして最後にお願いごとをさせていただきます。

まず、私がこの度拝命いたしました地区代表委員とは、『ロータリーの友』に関するガバナーの代理者として、「友委員会」においてガバナーの意向を踏まえた建設的な提言を行う』とされてあります。地区を代表した重要な立場であります。それ以上に「ガバナーの代理者」という表現をされると、随分大変なお役目を受けてしまったというのが率直な感想です。そして、この地区代表委員の任務として主に次のようなことを課されています。

- ①ガバナーと連携して、友委員会において建設的な提言を行い、「ロータリーの友」の購読率向上を図る取り組みを行う。
- ②地区内の会員への「ロータリーの友」の広報及び活用促進の活動に努める。
- ③毎月発行の「ロータリーの友」について、意見や感想をレポートとして編集部へ提出する。
- ④オリエンテーション及び年3回の合同会議へ出席する。

主にこのような役目を頂いておりますが、メインとなるのが③の毎月のレポートの提出です。我々地区代表委員は、皆さんのお手元に「ロータリーの友」が届くよりも少し前に『友』事務所より「ロータリーの友」が送られてきます。そして、全ての記事に目を通した上でレポートを『友』事務所へ提出します。このレポートは、単に「良かった」「悪かった」ではなく、「何が良くて何が悪かったのか」や、「違う視点での記事もあった方がいいのではないか」等、より具体的な感想や提言を求められるため、ある意味、批評するような視点を持った上で記事

の購読に臨まなければいけません。

また、上記に記載していませんが、「ロータリーの友」の記事の充実を図るために地区内のクラブや会員の情報を収集した上で、『友』事務所に情報提供することも求められます。

さて、このような役目の地区代表委員を拝命したわけですが、④の合同会議の1回目が早速、年度替わり初日の2023年7月1日に開催されました。各地区の地区代表委員と『友』事務所の職員の方との合同会議が東京にて行われました。

次第としては、『友』の購読状況についての話や地区代表委員と『友』編集部との連携についてのお話のあと、近隣地区でテーブル分けをされていたのでテーブルごとに情報交換の時間が設けられました。皆さん私と同じように初めての役目で具体的に何に取り組んでいけばいいのか分からない方が大半でしたが、皆さん同じような不安と疑問を持っていることを共有出来、同席して頂いた『友』事務所の職員の方に丁寧にご説明を頂きました。ただ、中には地区代表委員を複数回お受けされていたりしゃる方もおられて、貴重な意見交換の場となりました。

任期中にあと2回、このような情報提供や意見交換を行う会議が予定されておりますので、積極的な情報交換をして自地区へ情報を持ち帰りたいと考えています。

最後に地区代表委員としてお願いをさせていただきます。

お願いというのはただ1つ、「ロータリーの友」を是非お読みください。すべての記事に目を通してくださいというのが本当ですが、特定のコーナーの記事だけでも是非継続的にお読み頂きたいと思っております。また、他地区のクラブの活動に目を通すことで、自クラブの活動のヒントになることもあります。継続的に「ロータリーの友」をお読み頂くことで、「購読から好読」、そして「好読から愛読」へと繋がって頂けると幸いです。そのような、より皆さんに愛される「ロータリーの友」となるように、微力ながら地区代表委員として務めて参りたいと思っております。

米山記念奨学委員会 卓話研修会・茶話会の報告

米山記念奨学委員会 委員長 吉田 廣幸 (直方RC)

令和5年7月1日(土)午後2時からサットンホテル博多シティにて、新規奨学生・継続奨学生全員を対象に地区委員会恒例の卓話研修会・茶話会を行いました。奨学生全員が出席し、まず私から、「ロータリーにおける好ましい卓話の方法」と題してロータリークラブにとっての卓話の重要性やロータリアンがどのような内容を聞きたいのか、なぜ卓話が重要なのか等をPPTを使用しながら説明を行いました。次に、先輩奨学生のサンプル卓話という事で、モンゴルのバトバートル・チョイジルスレン君(九州大学、久留米中央RC)にお願いし、30分間の卓話を行って頂きました。テーマごとにきちんと分かりやすい日本語で説明し、時間も30分ぴったりで大変高評価のすばらしい卓話でした。そ

の後、地区委員も含め茶話会を行い、自己紹介や現状報告・困った事や悩んでいる事などをそれぞれに発表して頂き、和やかな雰囲気で行う事ができました。ちなみに、茶話会のお菓子は、直方の成金饅頭、大牟田の草木饅頭、宗像のメンベイといった地域代表の和菓子3種類を用意しました。みなさん楽しいひと時を過ごす事ができたようです。10月には研修旅行(広島)に行く予定ですので、お互いより一層の交流ができるようになると思います。

久しぶりに会員が集い個々の現状が分かり、大変有意義な研修会と茶話会になりました。地区委員も多く参加され、奨学生・地区委員同士の交流も深めることができました。



米山記念奨学生紹介

ロータリー米山記念奨学事業とは

日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界の平和の懸け橋になる人材を育てています。

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

第2700地区は、今年29名をお世話しています。ガバナー月信では、数名ずつ紹介していきます。



九州大学
薬学研究院創薬科学
修士2年生

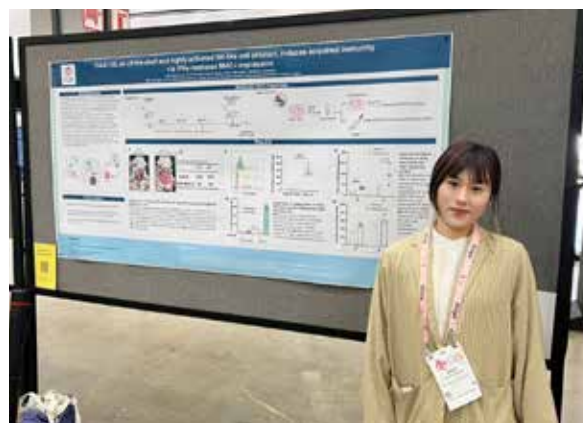
世話クラブ：遠賀RC
カウンセラー：波田賢一

テイシタク
鄭思拓 (中国)

米山ロータリー奨学生の鄭思拓と申します。今は、九州大学薬学研究院創薬科学の修士2年生で、遠賀ロータリークラブにお世話になっています。私は、中国寧波出身です。寧波は東中国であり、昔から栄えた港湾都市でした。過ごしやすのが特徴として魅力あふれる街です。また、緑が豊富で、とても心地よい場所です。

私が日本に来た理由について述べると、元々ドラマが好きで、ジャンル問わず見ていました。当時高校生の私が、TVドラマ「コード・ブルー」を見て、山P(山下智久さん)たちが演じる主人公たちの姿に感動していました。自分も目の前で人が倒れた時に何かできるような人間になりたいと考えて本格的に医者への道を志しました。大学に入って知識が広まった一方で、日本の医療研究に憧れました。これをきっかけとして、日本へ旅立ちました。

現在は癌の免疫治療について研究が進んでいます。がんは国民最大の死因となっており、新たな治療法の開発は喫緊の課題となっています。しかしながら、癌治療がどんどん発展していますが、必ずしも順調に進展しているとは言い難いです。私は免疫細胞に基づいた免疫治療の開発と応用について研究しています。微力ですが少しでも癌治療に力になればと考えています。修士を卒業した後は癌治療領域にさらに貢献したい



め、博士課程に進みたいと思っています。

米山奨学生になることができて、非常に光栄に思っています。また、ロータリー米山奨学会の奨学金によって、研究に専念することができたことを、心から感謝申し上げます。これからも社会に少しでも貢献できるように毎日頑張りたいと思います。



九州大学大学院
工学府機械工学専攻・国際コース
修士2年生

世話クラブ：筑後RC
カウンセラー：園田一精

ゲイソンカウ・スパラト (タイ)

こんにちは。国際ロータリー 2700地区2022－2023年度米山記念奨学生のゲイソンカウ・スパラトと申します。現在、九州大学大学院工学府機械工学専攻・国際コース・修士2年生で、筑後ロータリークラブにお世話になっております。

私はタイの北東部のスリン県出身で、高校は県内にあるシリントーンという学校に通っていました。高校3年間は、「理系英語プログラム」(タイ語ではなく英語で授業を受ける理系コース)に入っていました。2017年3月に高校を卒業し、同年10月に九州大学工学部機械航空工学科に入学し、福岡で生活を始めました。

4年後の2021年9月に大学を卒業し、そのまま九州大学で大学院に進学しました。大学院では、工学府機械工学専攻に入りました。研究室は「システム工学研究室」というところで、医療などへ応用するための口



ボットシステムの研究開発を行っています。

私の卒業研究は、「上肢外骨格型ロボットの認知アシストに向けた筋電図によるリアルタイム早期手書き文字予測手法の開発」で、上肢外骨格型ロボットの手書き動作支援に活用するための手書き文字予測手法を開発しています。研究の目的は、文字を書くことが困難な人、脳卒中患者、筋力の弱い人などの手書き作業を支援することです。

予定では、今年の9月に卒業することになっています。つまり、私の奨学生としての時間はあと少ししかないのです。筑後RCの皆さん、米山記念奨学委員会、奨学生同士、カウンセラーとご家族の皆さんと知り合えたことは本当に嬉しかったです。一緒に作った一つ一つの思い出を大切にしています。

米山記念奨学金を頂けたことに一生感謝します。今まで学んだこと、経験したことをしっかり覚えて、社会に役立つ人間に成長したいと思います。私が皆さんから人生をよりよくする機会を与えられたように、私も誰かにそういう機会を与えることができるように頑張っていきたいと思っています。





九州工業大学
工学府電子システム工学
修士2年生

世話クラブ：行橋みやこRC
カウンセラー：藤原妃呂

シンコウ
秦江 (中国)

2022年度米山記念奨学生の秦江と申します。私は2016年に中国の山東省青島市から日本に来ました。京都の日本語学校に2年間通い、九州工業大学に入学しました。学士課程の後、更に技術力を身につけるため、大学院進学を決意しました。現在は九州工業大学工学府の電子システム工学を専攻しており、画像処理に関する研究を行っています。

2022年4月から、日本で就職することを決めたため、学業と研究を精進しつつ、就職活動も始めました。自己分析と業界研究をしながら、様々な企業の説明会に参加し、インターンシップを応募しました。その結果、ソニーグループのカメラ部門であるソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社の夏・春インターンシップに参加し、今まで学校で勉強できなかったことに触れることができ、すごくいい勉強になりました。

このインターンシップに参加し、企業の雰囲気を感じとり、大変勉強になりましたが、一つ気づきました。私がしたいことはメーカー業界ではなく、コンサル業界だということです。そこで、アクセンチュアという総合コンサルティングファームの本選考を応募し、コンサル



ティング業界に挑戦しようと思いました。そして、自らリクルーターチームに連絡し、就職について相談させて頂きました。リクルーターチームの方々からたくさんのご指導とサポートを頂きました。そのおかげで、2月中旬にアクセンチュアから内々定を頂きまして、私はその内定も承諾し、2024年の4月からアクセンチュアに入社する予定となりました。

2022年に米山記念奨学生になり、行橋みやこロータリーに所属しております。毎月の例会活動を通して、クラブのロータリアンと交流を深めながら、日本の文化に関する理解も深めることができました。また、卓話活動を通して、日本の方々に母国の文化を宣伝することもでき、日本と中国の架け橋になれるように積極的に活動を進めています。さらに、海岸掃除などのボランティア活動に参加し、環境汚染から自然を守る貢献をできたと思います。

今後引き続き、米山奨学生として、多くのロータリークラブ活動に参加することで、たくさんの方々と交流し、母国の文化を宣伝しながら日本文化を吸収し、更に国際親和に貢献したいと思います。





九州大学
機械工学部
修士2年生

世話クラブ：久留米中央RC
カウンセラー：幸林真市

バトバートルチョイジルスレン
(モンゴル)

国際ロータリー 2700 地区米山記念奨学生のバトバートルチョイジルスレンと申します。久留米中央ロータリークラブにお世話になっております。出身はモンゴルです。2020年、大学の3年生時に九州大学の学部編入して来て、2022年に修士に進学し、現在は修士2年生です。

現在、DXということが世界中によく発展しています。この中で、土木の分野にもよく発展し、建設生産プロセスである調査・設計・施工・維持管理などの各段階の情報をデジタル化することで、建設生産向上や経営の改善が行われています。そこで、私は自分の研究でトンネルの建設プロセスの各段階の情報を3次元的に統合し、一元管理することで、トンネルに発生したひび割れや変形などを周辺の地質状態や施工記録などを考慮した多方面からのより、高度な維持管理することを目的としています。

2022年から2年間で、久留米中央ロータリークラブにお世話になる奨学生になりました。そこで、毎月の例



会に参加し、クラブの皆さんと仲良くして日本の文化や生活習慣などをより理解するようになっています。これに加えて、私の両親が日本に訪問する時に、私のカウンセラーである幸林真市さんが、色々ないい所に連れて行ってあげました。このように、私だけに限らず私の両親もお世話になっていることに、本当に感謝しております。また、ロータリークラブの活動で色々な所に旅行し、茶道などに参加することで、日本の様々なことを体験させていただいています。

最後に、いつもお世話になっているロータリークラブ米山奨学会地区委員の皆さまと、久留米中央ロータリークラブの皆さまに、この場を借りて感謝申し上げます。



日時／2022年 7月18日（火） 16時00分～17時30分

場所／ホテル日航福岡 新館 地下1階「パワー」

【出席者】廣畑PG、原田PG、小山田PG、井手PG、穴井PG、本田PG、安増PG、灘谷PG、貫PG、西島PG、吉田G、野崎 GE、濱野GN、大神地区幹事、大橋次年度地区幹事 [以上15名]（敬称略）

【欠席者】立花PG、波多野PG、富田PG、岡野PG、古賀PG [以上5名]

議事進行 大神地区幹事

1. 新旧ガバナーの挨拶

(1) 西島直前ガバナーご挨拶

西島直前ガバナー

小倉南ロータリークラブ会員からの依頼でガバナーをお受けしたが、その後に60クラブの公式訪問があることに驚き、ガバナーエレクト年度の準備期間も大変でありました。しかし、公式訪問では各クラブが様々な工夫を凝らしておられ、大変な勉強となりました。また、全国のロータリー研究会やセミナーを受講することは、自身が経験したことのない貴重な経験をさせていただきました。今は、ガバナーをお受けして良かったと思います。これもロータリアンの皆様のおかげであり、本当に感謝を申し上げます。これからは、パストガバナーとして第2700地区における役割を努めていきたいと思っておりますので、皆様ご指導をよろしくお願い致します。1年間、ありがとうございました。

(2) 吉田ガバナーご挨拶

吉田ガバナー

西島直前ガバナーにおかれましては、本当にお疲れ様でございました。1年間、ガバナーとしてしっかりと務めて参りたいと思っております。一度しかない機会を思う存分楽しんで頑張りたいと思っておりますので、皆様、どうぞご指導をよろしくお願い致します。

2. 濱野良彦ガバナーノミニーご挨拶

濱野ガバナーノミニー

福岡東南RCの濱野と申します。パストガバナーの皆様、どうぞよろしくお願い致します。西島直前ガバナーにおかれましては、本当にご苦勞様でございま

した。ガバナー就任に向けて不安もありますが、皆様のご指導のもとに仕事ができると考えております。一つ一つ学んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

3. 現況報告等

吉田ガバナー

(1) 第1回ガバナー会議報告

①ゾーンレベルの主要行事について

- ・ガバナーエレクト研修セミナー#1
9月4日、5日 対象者：野崎DGE
- ・地区ラーニングファシリテーター研修
9月6日 対象者：井手PDG
- ・日台親善会議 第8回台北大会 10月20日
- ・第52回ロータリー研究会並びに付随プログラム
11月19日(日)ロータリー財団地域セミナー
11月20日(月)第2回DG会、GETS#2、GNTS、RI会長・TRF管理委員長歓迎晩餐会
11月21日(火)ロータリー研究会1日目／晩餐会
11月22日(水)ロータリー研究会2日目
- ・クラブ活性化セミナー2024
2024年4月18日(木)1日目
2024年4月19日(金)2日目／午後：第3回ガバナー会議(DG、DGE、DGN情報交流会)

②7月1日に東京品川プリンスホテル新高輪で開催された第1回ガバナー会議の議事内容について、要点をご報告したい。

同会議では、冒頭に佐藤RI理事が挨拶され、当年度の要望事項等についてご説明があった(別の会議のためにほどなく退席)。その後、型通りの報告が



あり、審議事項として本年度予算が付議され、異議なく承認されている。

この会議での議事の中心は、協議事項として提案されたガバナー会規約改正案の扱いであった。この協議事項は、提案者として水野功RI理事エレクト（次期ガバナー会顧問）がご説明をされたが、「日本のロータリー未来形成チーム」の議論にも関係して、提案の趣旨・内容ともに漠然としたものにとどまった感がある。一昨年度辺りからの傾向を受けたものと思われるが、具体案を取りまとめる動きも示唆されているので、今後に進捗があれば、改めてご報告したい。

(2) 当年度の方針

当年度のRI会長テーマは、「Create Hope in the world」、地区テーマは、「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」とした。私の所信表明の内容は、資料を配布しているので、詳細は割愛する。一言でいえば、クラブの活性化とそのための自発的な努力を促すこと、そのために徹底的にクラブの課題意識や悩みにアattendすることに注力することになっている。このような観点から、やや異例ではあるが、クラブの視線に合わせる形で、12項目の重点取組事項を示した。

RIレベルから還元すると、このところ続いた「穴の開いたバケツ」、「一人が一人を」などのスローガンは背後に退き、変わってDEIが正面に出て、ロータリーを力強く活性化するためにどのようにして有為な人材を導き入れるかという視点に転換が図られている。単に会員数を増やせばよいというわけではなく、質が重要であること、しかし、かつてのような名士の社交クラブの視点からは離れる必要があることが強調されている。これがDEIの本質である。このような視点を活かすため、当年度は、達成可能性を保持できるギリギリの数字で地区会員数の目3200名を示した。会員増強委員長が、3200名なら西島年度にも達成可能があると意気込みを語られた一幕もあったが、現実はなかなか厳しく、速報値で3036名に落ち着いた。期末期首は異動転勤等による会員数減少が集中して極端な数値が出る時期ではあり、一時的な落ち込みとして捉えるべき部分も大きい、これを割り引いても、3100名を大きく割り込んでいるのは気懸りである。期末を基準にする限り、ここから200名近い純増を図るのは過去の実績ベースでは非常に厳しい予測になるが、コロナ禍の収束もあり、社会に動きが出ているので、各クラブに動きをつけて達成に尽力したい。

その一方で、特に強調しているのは、いわば「漢方

薬」としてのクラブの基盤強化である。クラブの基礎体力が向上し、オープンでインクルーシブな環境が整い、新会員との相互作用・化学反応によってクラブに動きが出てくれば、会員の定着率は自ずと向上し、クラブの活力が新しい会員を吸引する。会員増強はその成果として着いてくるので、目先の会員増強以上にこのクラブの活性化を重視して取り組みたいと考えている。このような観点との組合せの視点で、ロータリー賞全クラブ受賞を明確な目標として掲げ、いわば、これを足掛かりとして、各クラブをクラブセントラルへ誘導し、ヴィヴィッドなロータリー情報をマイロータリーから取り込めるように工夫をした。

また、各クラブに一つ以上の奉仕プロジェクトを実施するように促しており、この奉仕のエネルギーが新しい力を呼び込んで、クラブの新陳代謝を促し、結束を強くする効果に繋がることも強調している。

なお、現況の関係では、衛星クラブ6クラブが立ち上がり、今後も3クラブの立ち上げが予定されていることをご報告したい。衛星クラブは、独立を目指す存在として位置づけるのが本来的ではあり、当地区でも最終的にどのように動くかは様子を見ないと分からない部分もある。ただし、立上げの段階では、当面、いわば各クラブの「ファーム」として活用する形式が多く、これが設立への意欲を刺激している。いわば、多様性を確保して意欲ある新会員を獲得する手段となっており、新クラブ結成に等しい効果を上げている。この当地区の取組を参考に、ある地区では、分区単位で一つのファーム型衛星クラブを設立する動きが出ており、当地区の取組が参考にされている。独立を目的としないタイプの衛星クラブが、広くロータリーへのアクセスの窓口を開く存在として活用されつつあり、これがイレギュラーなものとなるわけではないことを御理解いただきたい。

また、ロータリーアクトの扱いが大きな課題となる。ロータリーアクトの位置付けは、既に「プログラムではなく、パートナーである」という位置付けになっている。これに伴い、例えば、RACをPETS、DTAに招聘するか、公式訪問を行うか、組織図上にどのように位置づけるかなどが検討課題となり、東京を含め、多くの地区で自覚的な検討が行われている。例えば、第2750地区では、ロータリーアクト委員会はガバナー直轄委員会として構成が取り直され、他の地区でもこれに準じる扱いがされている例がある。PETS、DTAは動画を撮影し視聴させている例、公式訪問は地区全体を2つのエリアに分けて集め訪問する例がある。当地区はか

なり出遅れている感はあるが、自覚的な検討を怠りなく進めたい。

また、このような位置付けの変更に伴い、提唱クラブ型ではクラブを維持できないローターアクトが出てくるのが避け難い状態となっている。現に、資料にあるとおり、行橋みやこRACはRIを離脱し、直方RACも同様になる。それぞれのクラブの会員数も少なく、提唱クラブによる維持も難しいとなると、今後これにどのように整理をつけていくか、漏れ落ちてしまうローターアクトをどのようにして支援し、救済するかを真剣に考えて形を整える必要がある。これが、今後喫緊の課題となる。その一方で、大牟田北RCを提唱クラブとして大学基盤のローターアクトが帝京大学に設けられる。この大学基盤RACは全国的にも安定したクラブ形態として注目されており、戦略計画推進セミナーでも広島大学RACの設立事例が紹介されていた。このようなクラブが当地区にも誕生したことは非常に意義深く、喜ばしい。しっかりと地に足の着いたクラブとして育つように支援したい。

それから、大事なこととして、本年3月辺りにRIでは既に決定されていたようであるが、この7月1日から、いわゆる研修リーダーの名称が「ラーニングファシリテーター」に変更され、研修委員会もラーニング委員会と名称変更された。決定事項であり、佐藤RI理事からも、早速組織図に反映してほしいとの要請があった。地区レベルで手続を履んで変更を承認・決裁するというレベルの問題ではないので、既に私から指示して組織図は書き直している。ご了承願いたい。これは講師の話を一方向的に聴くだけの「研修(Training)」から自発的でよりアクティブな「学習(Learning)」へという流れを受けたものである。これをいうなら、PELS、GELSになるのではないかと、DTTSもDTLSになるのでは、地区研修・協議会も地区ラーニング協議会になるのか、などなど疑問も湧き出るが、これは規定審議会での名称変更を要するため、当面据え置きということである。これは、日本事務局経由でアメリカの本部に確認して得た回答である。

その他、目先のこととしては、田主丸水害への対応を第6グループ中心に情報収集し、迅速かつ適切に行っていききたい。

また、九州4地区合同の奉仕プロジェクトとして10月28日にポリオを中心にイベントを設定している。公共イメージが正面に出すぎているため、ポリオ根絶をもっと真正面に出していかないとロータリーを広く認知させるという意味でも効果を期待できないのではな

いかと懸念する意見が寄せられている。今年のRIの重点取組事項として、ポリオ根絶活動に注力することが真正面に出ているため、これに適うようにプログラムを組み立てるよう指示を出していきたい。第2740地区と第2730地区ともに、エンドポリオを中心に据え、その後に公共イメージがついてくるのが自然な現象ではないかとまとまっているため、当地区もロータリー財団委員長へ再度榎入れのお願いをしていきたい。

(3) 現況報告

①7月1日現在の会員数

吉田年度＝3,036名／内女性会員＝231名
(うち衛星RC＝74名／内女性会員＝19名)
西島年度＝3,042名／内女性会員＝206名
貫年度＝3,040名／内女性会員＝191名
福岡東南けやき、対馬ちんぐロータリー衛星クラブ
設立
行橋みやこRACのRI離脱

②当地区からの寄付状況報告

- ・ロータリー財団寄付報告(2023年6月末現在)
402,325ドル(昨年度末 658,538ドル)
- ・米山記念奨学会寄付報告(2023年6月末現在)
45,745,496円(昨年度末 47,515,035円)

4. 本年度の「ガバナー指名委員会」のメンバーについて

吉田ガバナー

西島委員長、安増委員、岡野委員、灘谷委員、貫委員で構成される。本日、顔合わせとして準備委員会が開催された。

なお、ガバナー指名委員会は、直前ガバナーから任期の新しい順に逐次遡り、直近5名のパストガバナーにより構成されるところ、古賀パストガバナーより辞退したい旨の申し出があったため、同パストガバナーをカウントから外し、1年を繰り上げて安増パストガバナーを加え、上記の5名により構成することとなった。

5. 本年度の「戦略計画委員会」のメンバーについて

吉田ガバナー

貫委員長、西島委員、吉田委員(G)、野崎委員(GE)、濱野委員(GN)、安増顧問で構成される。本

日、第1回委員会が開催された。

6. 国際ロータリー 2023-2024 年度 翻訳委員会アドバイザーについて

吉田ガバナー

ガバナー会議との関連で、翻訳委員会いわゆるG会規約8条委員会として設置のアドバイザーに、当地区の廣畑富雄パストガバナーが選任されたため、RIから委嘱状が授与された。

廣畑パストガバナーご挨拶

ロータリー未来形成というロータリーが存続の分岐点にきておると感じている。そのような中、翻訳委員会アドバイザーとして、理事会や管理委員会の議事録がガバナー事務所に届いているが、興味のあるクラブはガバナー事務所に連絡いただく通知をすると親切なのではと考える。そのような取組みがないとクラブの方は何も知らない状況となってしまう。是非、地区としての取組みをお願い致します。

7. 地区ラーニング委員会報告

安増パストガバナー(地区ラーニングファシリテーター)

これまでの地区研修委員会から組織を変更した。吉田ガバナー年度から地区委員長経験者で構成される。ガバナー、ガバナーエレクトのシンクタンク的な役割、地区研修資料やプログラム検討等と地区委員会へのサジェスチョン等によりガバナー、ガバナーエレクトを支えていく役割を担う。

別件になるが、今年度からRIJYEM理事を拝命している。RIJYEMは青少年交換の主に保険を受ける団体かと思っていたが、今年度から青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLAの4つの青少年委員会のプラットフォーム化を目指している。RIJYEMの名称変更と負担金の変更が上がっていたので、今後検討が必要となるかもしれない。

8. 戦略計画委員会報告

貫パストガバナー(戦略計画委員会委員長)

本日、第1回戦略計画委員会を開催した。議題は次の3つである。

① RLI 規程の改定

地区代表議員資格要件をRLI本部規程に合わせて

改定する。改定内容は、資格要件として、ガバナーエレクト、ガバナー、パストガバナーの何れかとあるが、これに例外を設けて規則の形式を整えることである。なお、RLI日本支部の制度ではもともとこのような資格要件の定めはなく、資格要件を修正することに支障はない。

②カウンセラー規程の変更

地区カウンセラーは部門ごとに1名のカウンセラーを配置すると定められているが、1名以上のカウンセラーを配置できるように改定する。

③未修正規程の改訂

現規程は規則とマニュアルの性質が混在しているため、区分して整理し改訂を進めていく方向性が承認された。

④ローターアクトクラブとRYLA

安増顧問から問題提起があり、委員から様々な意見が出たが内容については委員会議事録にて報告したい。

9. 国際大会報告

西島直前ガバナー

5月末にオーストラリアのメルボルンにて開催され、貫直前ガバナーはじめ参加してきた。5,000名以上の参加者が集い、ジェニファー・ジョーンズRI会長のカナダ国歌がカナダの一流アーティストにより斉唱され、続いてオーストラリア国歌も一流の女性アーティストが斉唱された。そのあと、ジェニファー・ジョーンズRI会長のメッセージがあり、素晴らしい国際大会であった。今後は、より多くの一般会員が参加されることでロータリー活動の参考になるのではないかと感じた。

10. 前年度 第4回ガバナー会報告

西島直前ガバナー

辰野前RI理事による資料（日本のロータリー未来形成）にて説明された。2月20日のガバナー会にて、辰野前RI理事を中心に数名でチームを組んで日本のロータリー未来形成について議論をしている内容報告があった。問題意識が高まり、再度4月21日に追加でガバナー会が開催された。ガバナー会では単年度の議論となってしまうため、継続性が大事であることからガバナーエレクト会、ガバナーノミニ一会と3代でガバナー会を実施し、辰野前RI理事から日本の

ロータリー未来形成について内容報告があった。

SRFは本来であれば、2022年にRIがSRFに関係した具体的な提案をしようとしていたが、反対が多く提案ができなかった。それを受けて、日本のロータリー未来形成について議論を始めたというのが経緯である。私どもも理解できないまま議論を聞いていたため、今後どうなっていくのかは結論が出ていないのが現状である。ガバナー会、ガバナーエレクト会、ガバナーノミニ一会で継続して議論していきたいとの提案が水野RI理事エレクトからあった。通常では年3回のガバナー会が4回開催されたが、RIがどのように進めていくのか議論がまとまっていないのが現状である。11月に議論を整理して、報告書を出そうとなっているが、大変難しい問題であると感じている。

11. 部門カウンセラー複数設置について

吉田ガバナー

前回の戦略計画委員会にて議論し、部門ごとにカウンセラーを配置することとなり、部門の設置及び地区カウンセラーに関する規則が作成された。委員会ごとにカウンセラーを配置していた体制を改め、部門ごとに1名のカウンセラーを配置するというのが基本的な仕組みづけであるが、これによると、ポストの数を整理され、実働力の高いカウンセラーの下で効率的な活動の総括が可能になるというメリットがある反面、部門によっては多数の委員会の取扱事務が1名のカウンセラーに集中してしまい、過重負担となりがちであるという構造的な問題も内包している。

その一方で、ポスト数の減少のため、お役から外れたパストガバナーもいらっしゃる。無任所となると、これをきっかけにロータリー活動から離れていかれることも懸念されるが、これでは、それぞれのパストガバナーがお備えになっている豊富なご経験や知見が活かされずに失われてしまうことにもなりかねない。

このような問題を解決するため、多数の委員会を束ねる形式となっている部門について、複数のカウンセラーを配置することができないかと考えるに至った。実働の内実に応じて、協議の上で主担当と副担当を定めもらう、委員会のまとまりごとに分野を区別して担当するなどの工夫をしてもよい。ひとまず、主担当は配置済みである前提で、もう1名のカウンセラーを配置することにして組み直したい。この配置を可能にするため、本日の戦略計画委員会で1名以上のカウンセラーを配置できるよう規則を改定していただいた。

なお、現状を補足すると、例年であれば、国際協議会終了直後の第3回諮問委員会の席上にて、一斉にカウンセラー配置を協議するのが通例であるが、当年度は、部門の設置及び地区カウンセラーに関する規則改正が未了であったため、このような方法を取ることができなかった。このため、お一人お一人に個別にカウンセラーを依頼する必要がある、カウンセラーの決定までに過分に時間を要した経緯もある。この席上で、皆様に協議していただき、ご了承いただいたところに配置したい。

※複数配置する部門を協議した結果、奉仕プロジェクト部門は小山田パストガバナー、公共イメージ向上部門は岡野パストガバナー、青少年奉仕部門は原田パストガバナーにそれぞれ御担当いただくこととなった。また、今後については、必要に応じて随時御担当をお願いする可能性があることを確認した。

貫パストガバナー

戦略計画委員会において、1名以上のカウンセラーを配置する場合は主・副担当などの役割についてはカウンセラー間にお任せすることで承認されたので、ご報告の上、趣旨を確認しておきたい。

灘谷パストガバナー

米山記念奨学部門のカウンセラーは、吉田ガバナーが適任と思うが、現役ガバナーがカウンセラーを務めるは過重になってしまう懸念がある。

安増パストガバナー

私もガバナー年度に米山記念奨学委員会カウンセラーを兼務したが、委員会の性質上、カウンセラーの扱い事務は負担にならないものと考えられる。

吉田ガバナー

部門カウンセラー設置規則において米山記念奨学会理事であるPDG、DG、DGEが担当することとされており、例外的にDGが就任する場合があることが確認されており、規則の上では就任に支障はない。また、米山委員会はもともと自律性が高く、過度の事務負担となるわけではないことも、安増パストガバナーのご説明のとおりである。このため、米山委員会は、現行の配置を維持することとするが、カウンセラー本来の資格要件（パストガバナー）から外れるのは事実であるから、奨学会理事の立場を反映してした結果とはいえ、ガバナーが直接担当する扱いが異例のことで

あること、他の年度や他の部門、委員会に一般化できるものではないことなどは、ここで確認しておきたい。

灘谷パストガバナー

地区ラーニング委員会の副委員長が、井手パストガバナーとなっているが、副委員長ではなく顧問としてはどうか。

安増パストガバナー

次年度地区ラーニングファシリテーターは、オブザーバーとして委員会に出席することとなっている。

吉田ガバナー

ご提案の趣意のとおり、パストガバナーがその立場で委員会に関与する場合は、委員一般とは期待される役割が異なるものと考えられる。次年度地区ラーニングファシリテーターがコミットするのであれば、御提案のとおり「顧問」として委員会に関与していただくのが適切と考える。規程に条文化されているため、改正を検討する。

12. その他

(1) 国際大会の誘致について

安増パストガバナー

国際大会を福岡に誘致することを検討したいことについて説明。

井手パストガバナー

RI理事経験者などから、誘致に必要な資格条件を先ず調査してもらいたい。

(2) 戦略計画等について

井手パストガバナー

戦略計画は-各クラブに徹底されていないようである。

吉田ガバナー

現在の戦略計画で5か年計画として実行されてきているのはDLP・CLP等の推進等が主である。

井手パストガバナー

その地区戦略計画はクラブにはっきりと示されているのだろうか。毎年、進捗確認や報告があって、それを当該年度のガバナーが実行しクラブも連動していくイメージがわかるように進めてはいかかが。

吉田ガバナー

戦略計画を作りなおす時期に入る。現状の計画はDLPとCLPに合わせていく運動で進めハード面の課題に取り組んできた。しかし、ソフト面がない状態である。他の地区はよりソフト面に注力しており、それを参考にしながら戦略の目標が目に見えるような形あるいはビジョンを示すような形などに作り変えるべきだと考えている。

井手パストガバナー

クラブセントラルを全クラブ活用し長期計画を入力してもらうことやマイロータリーに全員登録することなどが基本であるため、徹底させていただきたい。

吉田ガバナー

今年度はロータリー賞の全クラブ受賞を掲げてお

り、全クラブがクラブセントラルにアクセスする必要がある。全クラブがクラブセントラルにクラブの計画等を入力しているはずである。それについては、クラブ運営支援委員会がクラブサポートを行うようになっている。

(3) ガバナーエレクト主催研修会議について

野崎ガバナーエレクト

大神地区幹事のアシスタントをしております私の年度の大橋地区幹事予定者を紹介します。私同様、ご指導をよろしくお願い致します。

ガバナーエレクト年度の地区3大研修含む5大会議等の予定を資料にて配布しております。皆様にはカウンセラーとしてご出席ご指導いただくことも多々ありますかと思いますので、ぜひスケジュールに記録していただくようお願い致します。

新旧ガバナー激励・慰労会 開催報告

日時／2022年 7月18日 (火) 17時30分～20時30分
場所／ホテル日航福岡 新館 2階「ラメール」

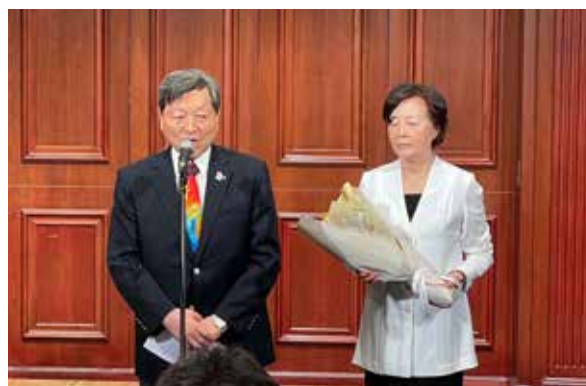
大役を終えられた西島直前ガバナーと 覚悟みなぎる吉田ガバナー

2023年7月18日、第1回諮問委員会開催後に、ホテル日航福岡新館ラメールにおいて、新旧ガバナー激励・慰労会が開催されました。西島英利直前ガバナーご夫妻、吉田知弘ガバナーご夫妻を囲んで、ホスト役をお務めいただいた貫正義パストガバナーご夫妻を始めとした多数のパストガバナーご夫妻、野崎千尋ガバナーエレクトご夫妻、濱野良彦ガバナーノミニーが出席され、華やかな宴となりました。

西島直前ガバナーのごあいさつ、吉田ガバナーによる決意表明のあとに、西島直前ガバナーご夫妻へ記念品と花束が謹呈されました。大役を終えられたばかりの西島直前ガバナーの穏やかな表情とこれからの1年へ向けて覚悟みなぎる吉田ガバナーのお顔が大変印象的でした。宴の中では、各パストガバナーよりお二人へ向けた慰労と激励の言葉がかけられましたが、2700地区を担ってこられた方々の重みのあるお話ばかりであり、地区の歴史を感じる貴重なお時間であったように思います。

なお、本来であればガバナー事務所長がお務めになる本会の運営ですが、現在空席のため代行を私が務めました。行き届かないことが多々あったと思いますのでこの場を借りて易お詫び申し上げます。また、次年度地区幹事大橋晋弘さんには運営のお手伝いに力を尽くしていただきました。感謝申し上げます。

以上、ご報告申し上げます。



西島直前ガバナーご挨拶



新旧ガバナー激励・慰労会



貴PG 乾杯のご挨拶



廣畑PGと吉田G



(右)西島直前Gご夫妻と(左)吉田Gご夫妻



集合写真

ガバナー公式訪問ご報告

小倉南RC

7月11日(火)

7月11日、直前ガバナー西島英利氏が所属する小倉南ロータリークラブにおいて吉田年度の公式訪問が始まりました。今年設立54年目となる小倉南RCではロータリークラブの歴史等を理解する上で非常に興味深い取り組みを行っています。それは、ロータリーの情報について文字ではなく、落語家による動画を用いて「落語によって」学ぶという方法です。既に4～5回ほど実施しており、大変好評ということでした。今後、地

区の各クラブにもその情報を共有して頂きたいということをお願いし、快諾を頂きました。クラブ運営では、会員増強を問題点とされていましたが、今年度すでに2名の入会が予定されており、長年の懸案である女性会員入会の日もそう遠くないように感じました。伝統ある小倉南RCが女性会員の入会により更に活性化されることを期待しています。

藤川 秀幸(福岡東RC)



同行者：大神朋子地区幹事、中島伸一郎ガバナー補佐、藤川秀幸

遠賀RC

7月18日(火)

7月18日遠賀ロータリークラブへ公式訪問を致しました。創立54年目であり、次年度55周年を迎える親近感と気さくな雰囲気にあふれるとても和やかなクラブでした。近年は、年齢層が若い会員が増えており、非常に活気があるクラブという印象を受けました。

社会奉仕事業として遠賀郡内で献血活動の協力を継

続して行っており、公共イメージ向上にも積極的に取り組まれています。

また、米山奨学生も継続して受け入れをされているクラブでした。

今年は、入会歴が浅い会員への勉強会の実施や地域ごとのエリアに分けての親睦強化、社会奉仕事業の継続などを実施しながら、ますます会員増強に力を入れていかれるということでした。

入江 良太郎(福岡東RC)



福岡城東RC

7月22日(土)

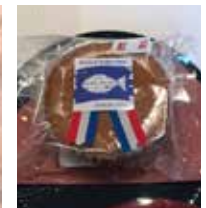
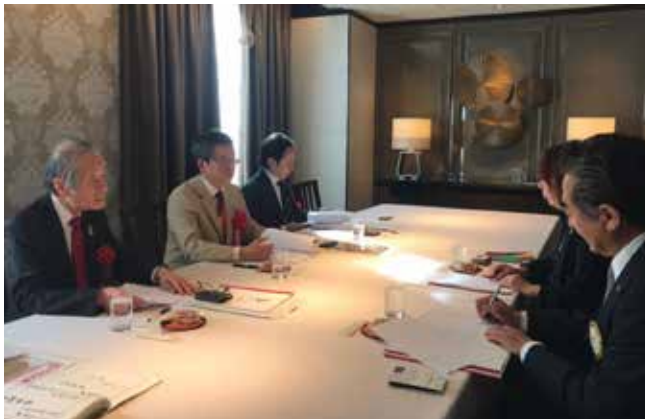
例会開始前の7時15分から吉田ガバナー、竹崎ガバナー補佐、立花さんと一緒に、福岡城東RCの武藤会長と笹田幹事と45分間交流を行いました。

武藤会長からは、福岡城東RCへの入会のきっかけや、現在のクラブの悩み、またカンボジアの小学校のトイレ改修支援や福岡障害者支援センターからクッキー詰め合わせを購入して会員の誕生日に送ることを通じた支援活動、今後フィリピンに石鯨等を贈る取組みなど、さまざまな活動について紹介され、私も非常に深い

関心を持ちました。吉田ガバナーからも、支援活動に対するアドバイスや助言がなされ、交流の場は大いに盛り上がりました。その後は例会に参加し、夏の思い出を歌い、武藤会長の挨拶、吉田ガバナーからの「クラブを強く、たくましく」という卓話があり、例会は無事に終了しました。

今回の訪問で改めてロータリークラブについて、より深く理解することができ、大変勉強になりました。

鄭 爽(福岡城東RC)



福岡平成RC

7月24日(月)

福岡平成ロータリークラブへのガバナー公式訪問を、令和5年7月24日に実施した。今年度のクラブ方針を「進化と前進」と掲げた同クラブは44歳から89歳の会員で構成され、平均年齢65歳である。会員数は46名(うち、女性会員12名)で中小企業経営者が多いクラブである。その特徴は、会員同士の仲が良く、各種の同好の会があり、アットホームでオープンな雰囲気の

クラブである。会員の退会防止策として小規模の食事を実施したり新会員対象にメンター制度を敷いたりしている。また、若手会員が新たな若手を勧誘すること、クラブの活動を積極的に外部に広報することで会員増強に努めている。吉田ガバナー年度のロータリー賞受賞は、クラブの特質を活かし達成目標を掲げ準備中とのことである。

大和 竹史(福岡東RC)



飯塚RC

7月25日(火)

7月25日飯塚ロータリークラブへ公式訪問を致しました。本年度55周年を迎える伝統クラブであり、過去一年間の例会平均出席率が96.5%という高い出席率を実現されておられます。

週報にも力を入れておられ、一言一句を大切に拾って例会での報告を週報に記録されていました。

また、会員の配偶者に誕生日お祝いをされるなどご家族に対してもご配慮をされていることがすばらしいこ

とであり、印象的でした。

月1回の合同委員会を実施されており、勉強会やベテラン会員の方のお話を行い、会員同士の親睦強化を図っておられます。

今後はロータリー財団地区補助金の活用をして、社会奉仕事業などを積極的に取り組んでいかれるということでした。

入江 良太郎(福岡東RC)



福岡RC

7月26日(水)

福岡ロータリークラブは、昭和8年(1933年)3月5日創立で、会員数130名、日本で14番目、九州では初のロータリークラブであり、2023年に創立90周年を迎える。姉妹クラブに釜山RC(韓国.1968年創立)、オークランドRC(米国.1978年創立)、ボルドーRC(仏.2013年創立)があり、積極的な国際交流・国際奉仕活動にも取り組まれている。

1963年にクラブ創立30周年記念事業として福岡ロータリークラブ独自の奨学生制度として、青少年奉

仕「公益財団法人福岡ロータリークラブ奨学会」を設立し、現在60年継続している。

会員の約3分の1は域外を本拠地とする企業の支社長・支店長で構成されており、3~5年程度で交代する傾向にあるため、常にクラブに新たな活力や雰囲気をもたらしている。伝統と歴史あるクラブとして親睦を大切にし、友情を育むことを大切にしている。

新嶋 秀夫(福岡東RC)



小倉RC

7月28日(金)

小倉ロータリークラブは、1949年11月26日設立で今年74周年を迎えるロータリークラブである。松本篤会長、宮島俊司幹事のもと、会員数69名(内女性4名)、今年のクラブテーマ「原点を回帰しながら、活動を広げよう」を掲げ活動を行っている。

クラブの特徴は、小倉北区で職業奉仕を営んでいる企業経営者を中心に、日本全国や九州の経済界を代表する大手企業の支店長クラスの会員が数多く入会(4~5割)している。

今後の課題としては、優秀な会員が多いものの、人事異動による退会が多いので責任あるポストに付けにくいことがあり、人事異動の可能性が少ない地元の企業経営者などの会員増強が課題で、特に若い世代の会員増強に力を入れる予定とのことである。

米山記念奨学生の受け入れをされており、インターアクト委員会では、小倉工業高校インターアクトクラブの活動に対して支援・協力も行っている。

田中 浩成(福岡東RC)



小倉中央RC

7月31日(月)

訪問日時: 令和5年7月31日 AM11時

参加者: 吉田知弘ガバナー、松田修副幹事、
田中博光副幹事

小倉中央ロータリークラブ様に公式訪問させて頂きました。

今期で32周年、チャーターメンバー男性33名、女性9名の合計43名で、会員50名を目指しておられるそうです。

平均年齢も若く、女性会員が全体の33%で、福岡東ロータリークラブと同様に女性会員が多いクラブで、特に青少年奉仕に力を入れておられるそうです。

例会もとてもアットホームで、そして女性会員の方がとても元気が良く活発的な印象でした。

とても素晴らしいと思ったのが、会員の定着率と例会の出席率です。

退会者は殆どなく(退会する場合は病気か家庭の事情)、出席率も90%を超えている状況です。

その要因は、馴染みやすい雰囲気と、会員相互のコミュニケーション、そしてロータリアンとしての誇りをしっかりとお持ちになっているからだと感じました。

この度は、大変貴重な体験をさせて頂き誠にありがとうございました。

田中 博光(福岡東RC)



クラブ紹介

第1グループ 田川IRC

ベテラン会員と若手会員が互いに協力し合っています

田川ロータリークラブは1967年、行橋ロータリークラブをスポンサークラブとして設立され、今期56年目を迎えます。

会員数は7月1日現在39名、36歳から82歳まで幅広い年齢層で構成されています。周囲を山々に囲まれたこの田川地域で生き抜いてこられた同志たちが、毎週水曜日に集まっています。

田川クラブの特徴としては、非常に風通しがよく、コミュニケーションがとりやすい点が挙げられます。若手会員の思い切った計画も、経験豊富なベテラン会員が温かい目で見守って下さり、ここぞというときはアドバ

イスを頂けるといってもありがたい環境が整っています。また、SAAによる伝統的な管理・運営により他クラブに負けない引き締まった例会が実施されています。さらにはドクターが多く在籍しているため、各科のドクターに日頃の健康不安を相談できるという良いところがあります。

今期は、原点に立ち返り、出席を重視し皆と顔を合わせることを基本とし、四つのテスト、六つの心を常に胸に刻みながら、自分の心と照らし合わせて一人一人がより良いロータリアンになれるよう努力していくことにより田川クラブを成長させることが目標です。



田川IRC 2023-2024年度会長 浦野 輝孝



ロータリー奉仕デー



ガバナー公式訪問

[創立周年] 74周年

[会員数] 71名(うち女性会員4名)

[例会] 金曜日 / 12:30 ~ 13:30

[場所] リーガロイヤルホテル小倉 3階



小倉RC 2023-2024年度会長 松本 篤

当クラブは、1949年（昭和24年）11月26日に福岡クラブをスポンサークラブとして創立されました。戦後に日本が国際ロータリーに復帰した後、九州で最初に新設されたクラブで、2024年に創立75周年を迎えることとなります。

会員は北九州市小倉北区内の企業経営者が中心ですが、日本や九州を代表する大手企業の支社長支店長クラスの会員も数多く入会しています。大手企業会員の高い倫理意識や豊富な情報量と、地元会員が有する地域情報やネットワークを織り交ぜながら活動を展開しています。ただ、半数近くの会員が、異動により2～3年周期で入れ替わっていくため、その方たちへ委員長等の役職をお願いしにくいのが難点でもあります。

委員会編成は、これまでどおり13の委員会で活動しています。親睦活動は、コロナで中断していた「洗身会」「洗心会」「みんなの料理教室」等の行事も復活し、社会奉仕では小倉工業高校のインターアクトクラブの生徒さんと一緒に、小倉駅前清掃や清掃登山活動をするなど活発に展開しています。



ギラヴァンツ北九州応援



清掃登山

第2グループ 小倉中央RC 手に手 輪に輪

我が小倉中央RCは、1992年3月14日 創立、会員数42名、うち女性会員13名です。例会日は、月曜日リーガロイヤルホテル小倉にて開催しております。小倉区内では5番目、北九州市内では15番目、2700地区では58番目、そして日本では2002番目のクラブとして誕生しました。第2700地区で女性会員に、初めて広く門戸を開いたクラブであります。

第2700地区初の女性会長、初の女性ガバナー補佐を輩出したことは、我がクラブの誇りであります。創立

5年目にIACを設立し、その後は、節目節目で青少年をテーマに活動してきました。2018年より北九州市内の児童養護施設への支援に取り組み、施設の現状を把握しながら今年度も活動を続けています。今年で創立32年目です。

例会以外では、同好会も盛んで、ゴルフ、野球、囲碁、ウォーキング、カラオケ等があり、親睦を深めています。

「手に手、輪に輪」が一つの心に広がり回りますように。



小倉中央RC 2023-2024年度会長 梶原 謙吾



北九州マラソン応援



野球同好会



米山奨学生家族も参加のソフトボール大会



吉田ガバナー公式訪問

第2グループ 小倉東RC

自主性を重んじ、自由で開かれたロータリーを

【創立周年】1959年6月17日設立

【会員数】94名(うち女性会員6名)

※2023年6月末現在

【例会】毎週水曜日 / 12:30 ~ 13:30

【場所】JR九州ステーションホテル小倉



小倉東RC 2023-2024年度会長 加賀美 清之

【クラブの特徴】

会員の自主性を重んじた自由で開かれたロータリーの実現に向けて以下のような活動に取り組んでいます。

1. コロナ明けでより楽しい活気ある例会の復活
2. 新入会員のロータリー行事への積極的参加
3. ロータリー賞の受賞
4. 会員基盤の増強(会員数110名へ)
5. 女性会員の活躍(エンパワーメント)
6. プラットフォームとしてのマイロータリーの活用

【力を入れている事業】

インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの青少年奉仕活動に力を入れており、支援する小倉商業高校の生徒とともに月1回の小倉駅前早朝清掃などを実施しています。また、北九州空港の花植えと清掃や行橋〜別府100キロウォーク後援、ポリオプラス基金への寄付、ギラヴァンツオープンマインドプログラム共催など独自の活動も展開しています。



ギラヴァンツオープンマインドプログラム



北九州空港の花植え



インターアクトクラブ早朝清掃

第2グループ 小倉南RC Open Up! 小倉南

小倉南ロータリークラブは小倉東ロータリークラブをスポンサークラブとして1969年11月25日に設立され、54年目となります。

今期のテーマは『Open Up! 小倉南』例会の出席率100%（含むメーカーキャップ）とニコニコボックス130万円（年間）を目指して、コロナ禍になる前まではほぼ達成していました。

しかし、コロナでここ3年、例会が不規則となり未達に終わっていますが、前年後半より徐々に出席、ニコニコ共に増加の傾向にあります。

前年度はガバナー輩出という大イベントがあり、よりクラブ内の結束が強くなったように感じます。

今期はスタートと共に委員会の活動や炉辺会合もとても活発に行われており、宿題になっている女性会員の獲得にも力を入れていきたいと考えております。

また、今期はIMの主催クラブとして、第2グループの皆様が来て良かったと思えるようなプログラムを

考えていこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



小倉南RC 2023-2024年度会長 奥山 繁久(右)



ガバナー公式訪問集合写真 7月11日(火)

第2グループ 小倉西RC 仲良く、新鮮な交流をしています

【創立総会】1971年 10月14日 52周年
【会員数】45名 (女性1名)
【例会】木曜日 / 12:30 ~ 13:30
【例会場所】JR九州ステーションホテル小倉

【クラブの特徴】

昨年度11名の新会員を迎え、寛容で安心感のあるベテランと、これからのクラブを担う若手が、仲良く新鮮な交流をしている「居心地の良いクラブ」です。

クラブ独自の活動としてクラブ創立10周年を記念して設置した「教育文化基金委員会」があり、毎年基金を積み立て、昨年度より地元中学生を対象とした「高等学校奨学生」を募集し、経済的支援をしている。

2022年に創立50周年記念事業を行い、子ども食堂への寄付支援、百瀬ミュージックボランティアグループへの楽器の提供、いとうずの森公園（動物園）へのミドリコンゴウインコの寄贈を行った。



子ども食堂 ボランティア



左から 川村一弘 前会長、北橋健治 前市長、神崎 大 会長



台湾 樹林RC (姉妹クラブ) 訪問



北九州マラソン ボランティア



百瀬ミュージックボランティアグループへ楽器提供



北九州空港 ドネーションBOX設置 (ポリオワクチン)

ローターアクトクラブ 活動報告

地区ローターアクト委員会

副幹事 片山 亮輔 (福岡南RAC)

平素よりお世話になっております。地区ローターアクト副幹事の片山亮輔と申します。ローターアクトより活動報告をさせていただきます。

1. 久留米地域豪雨における災害ボランティア

7月17日、久留米ローターアクトクラブが旗振り役となり、久留米市社会福祉協議会経由で豪雨災害に見舞われた久留米地域の災害ボランティアに参加しました。浸水によって使えなくなってしまった家財の搬出、水の流れて運ばれてきた泥のかき出しといった作業に従事しました。10時から14時での活動で、炎天下のなかではありましたが、無事ボランティアを終えることができました。

8月11日に開催しました、2回目のボランティア活動では、自地区だけでなく近隣の2740地区(佐賀・長崎)からも参加いただき床上浸水した住居の床清掃を行いました。比較的、作業負荷の軽いボランティアではありましたが35℃を超える室内での作業に汗が噴き出してきました。当日の内容は17日放送のNHK「おはよう日本」にも一部取り上げられております。

同地域では、まだまだ支援の手を必要としている方も多いという印象を受けています。特に炎天下での作業は想像よりも大きな作業負荷がかかります。若い力が集まるローターアクトクラブの利点を生かして今後も



8月の災害ボランティアには2740地区代表(中央)も参加

継続した支援を心がけていきたいです。

2. 八幡RAC公式訪問

7月29日、八幡RACの地区代表公式訪問を行いました。アクターがそれぞれ企画した事業活動をロータリーの方々にプレゼンし、出資を募るという内容でした。イベントへの参加や、店舗運営など幅広いアイデアが紹介され、ロータリーの方々からも「こういった視座がある」や「事業の目的や収益性ははっきりとしたほうが良い」といった具体的なアドバイスをいただくことができました。経営者の方々と直にコミュニケーションができるアクトの特性を生かした例会だったと思います。

八幡RACではアクトの定年を条件付きで40歳まで延長するなど、会員増強に向けた取り組みを進めており、会員数向上にも積極的なクラブです。各クラブにより内情は異なりますが、好事例となっているところは地区全体に波及させていければと思います。



ロータリーの方々からも様々なご意見をいただいた(八幡RAC公式訪問)



八幡RAC公式訪問での集合写真

第3回 米山学友による世界大会 「再会in関東」参加体験記

米山記念奨学委員会

委員長 吉田 廣幸 (直方RC)

2016年に開催された韓国ソウル大会には、世界各地から多くの米山学友が参加し、そこで2年に1度の米山学友による懇親イベント開催が決定され、第1回が2017年「感謝in熊本」(米山学友合同実行委員会主催)が行われ、第2回が2019年の「絆inモンゴル」(モンゴル米山学友会主催)が開催され、コロナで1度延期され4年ぶりの今回第3回米山学友による世界大会「再会in関東」(関東10地区合同米山学友会主催)が、2023年8月4日世界最大級のサイエンスシティー茨木県つくば市で開催されました。



第2700地区委員・学友会員・関東地区在住の学友 「再会in関東」にて

世界中38ヶ国から大会登録者は1,200人を超え、8月4日前夜祭、8月5日式典及び晩餐会、8月6日文化体験バスツアーというプログラムで行われました。私たち第2700地区からは、学友メンバー4名、地区委員5名、関東エリアの2700地区出身学友4名が8月5日(土)に現地で合流しました。

会場となったつくば国際会議場は超満員で、米山学友たちのパワーと米山記念事業の重要性を強く感じました。朴貞子実行委員長をはじめ、若林紀男公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長、水野功RI理事エレクト、関東10地区のガバナーもご列席された盛大な式典でした。晩餐会に至っては、会場に入りきれないほどの超満員で、久しぶりに会った方たちもたくさんいて、大変盛り上がりしました。私たち地区委員にとって初めての世界大会でしたので、大変有意義な経験となりました。次回は台湾で行われます。今後とも米山記念奨学事業の一層の発展に少しでも協力できるよう頑張りたいと思います。ご同行頂いた地区委員及び学友の皆様から感謝致します。ありがとうございました。



「再会in関東」での晩餐会



懐かしい学友と再会

7月度 会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	例会数	当月末 累計出席率	期首		当 月				期首からの累計			My Rotary 登録率 (8/8現在)	23年7月1日 目標会員数
				会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減		
1	豊 前	3	75.56	30	2	0	0	30	2	0	0	0	50.00	30
	豊前西	2	81.25	8	1	0	0	8	1	0	0	0	50.00	13
	刈 田	4	70.42	34	4	2	0	36	5	2	0	2	72.22	40
	田 川	4	95.95	39	3	1	0	40	3	1	0	1	92.50	41
	行 橋	3	81.29	45	6	2	0	47	7	2	0	2	96.67	51
	*衛星クラブ	2	46.15	14	8	0	1	13	7	0	1	-1	96.67	18
	行橋みやこ	4	67.00	55	3	0	0	55	3	0	0	0	98.21	59
計 (6RC)	22	73.95	225	27	5	1	229	28	5	1	4	76.60	252	
2	小 倉	4	90.46	66	4	4	0	70	4	4	0	4	24.29	63
	小倉中央	3	94.83	41	13	1	0	42	13	1	0	1	78.57	46
	小倉東	3	87.10	93	6	2	0	95	6	2	0	2	58.95	100
	小倉南	4	97.87	52	0	4	0	56	0	4	0	4	28.85	60
	小倉西	3	81.82	44	1	2	0	46	1	2	0	2	15.22	49
	門 司	4	90.63	31	2	3	0	34	2	3	0	3	2.94	36
	門司西	4	79.43	36	0	0	0	36	0	0	0	0	33.33	43
	戸 畑	4	88.24	18	2	0	0	18	2	0	0	0	44.44	21
	戸畑東	4	89.77	23	2	0	1	22	2	0	1	-1	31.82	25
	若 松	3	93.65	22	4	0	0	22	4	0	0	0	54.55	24
	若松中央	4	69.32	23	1	0	2	21	1	0	2	-2	33.33	25
	計 (11RC)	40	87.56	449	35	16	3	462	35	16	3	13	36.94	492
	3	飯 塚	4	93.93	72	0	0	0	72	0	0	0	0	16.90
直 方		4	83.20	33	4	0	0	33	4	0	0	0	50.00	42
直方中央		4	80.65	32	6	1	0	33	6	1	0	1	96.97	34
遠 賀		3	86.07	44	4	1	0	44	5	1	0	1	45.45	49
八 幡		3	80.29	45	5	3	1	47	6	3	1	2	25.53	55
八幡中央		4	96.25	50	3	2	0	52	4	2	0	2	51.92	55
八幡南		4	88.50	49	1	1	0	50	1	1	0	1	34.00	52
八幡西		4	92.35	49	0	0	0	49	0	0	0	0	36.73	52
計 (8RC)		30	87.65	374	23	8	1	380	26	8	1	7	44.69	417
4	太 宰 府	4	95.63	46	4	0	0	46	4	0	0	0	100.00	50
	福 岡	4	85.04	118	2	13	0	131	3	13	0	13	66.41	2
	福岡平成	4	77.98	45	12	1	0	46	12	1	0	1	73.91	50
	福岡東	4	83.16	74	15	0	0	74	15	0	0	0	75.00	82
	*衛星クラブ	2	89.29	14	2	0	0	14	2	0	0	0	75.00	18
	福岡城南	4	87.50	51	10	1	0	52	10	1	0	1	38.45	63
	福岡南	3	80.48	87	0	0	0	87	0	0	0	0	78.13	96
	*衛星クラブ	1	77.78	9	4	0	0	9	4	0	0	0	78.13	12
	福岡東南	5	62.59	72	8	1	3	72	10	1	3	-2	59.77	79
	*衛星クラブ	1	40.00	15	2	3	0	15	2	3	0	3	59.77	13
	博多イニング	4	74.62	51	11	2	0	53	11	2	0	2	96.23	52
	宗 像	4	80.12	42	5	1	1	42	5	1	1	0	65.12	47
	対 馬	4	79.55	21	4	2	0	22	4	2	0	2	5.88	23
	*衛星クラブ	2	91.67	12	2	0	0	12	2	0	0	0	5.88	13
	計 (10RC)	46	77.98	657	81	24	4	675	84	24	4	20	65.89	600
5	福岡中央	4	86.36	50	5	3	0	51	5	3	0	3	68.85	54
	*衛星クラブ	2	90.00	9	1	1	0	10	1	1	0	1	68.85	15
	福岡イニング	4	81.82	31	5	2	0	33	5	2	0	2	60.61	35
	福岡城西	3	94.03	111	0	1	0	112	0	1	0	1	29.45	130
	福岡城东	4	85.85	27	3	1	1	26	2	1	1	0	15.38	29
	福岡北	3	92.67	55	0	0	1	54	0	0	1	-1	38.18	67
	福岡西	4	87.41	137	1	6	0	143	2	6	0	6	32.87	145
	博 多	3	94.27	51	3	5	0	56	4	5	0	5	70.18	61
	巻 岐	4	84.56	40	2	0	0	40	2	0	0	0	57.50	43
	巻岐中央	4	84.38	24	1	2	0	24	1	2	0	2	54.17	30
	糸 島	4	98.57	55	1	0	1	54	1	0	1	-1	57.41	60
計 (10RC)	39	89.08	590	22	21	3	603	23	21	3	18	48.46	669	
6	甘 木	3	90.80	59	2	0	0	59	2	0	0	0	38.98	62
	久留米	4	72.50	85	4	2	1	85	4	2	1	1	31.76	90
	久留米中央	3	98.28	39	3	1	0	40	3	1	0	1	35.29	46
	*衛星クラブ	2	100.00	0	0	11	0	11	2	11	0	11	35.29	0
	久留米東	3	84.65	78	7	0	0	78	7	0	0	0	30.77	80
	久留米北	4	84.83	75	7	0	0	75	7	0	0	0	28.00	78
	小 郡	1	86.36	48	1	0	1	47	1	0	1	-1	42.55	52
	鳥 栖	4	91.55	51	3	3	0	54	5	3	0	3	38.89	65
浮 羽	3	77.45	37	1	0	0	37	1	0	0	0	29.73	44	
計 (8RC)	27	87.38	472	28	17	2	486	32	17	2	15	34.50	517	
7	筑 後	3	96.83	21	0	2	0	23	0	2	0	2	39.13	24
	大 川	3	79.82	39	1	0	0	39	1	0	0	0	100.00	45
	大 牟 田	4	87.07	65	5	0	0	65	5	0	0	0	46.15	66
	大牟田北	4	78.57	50	2	0	0	50	2	0	0	0	76.00	53
	大牟田南	3	76.56	24	0	0	0	24	0	0	0	0	28.00	29
	八 女	3	79.41	23	3	1	0	24	3	1	0	1	8.33	26
	柳 川	3	82.58	47	4	0	0	47	4	0	0	0	68.09	48
計 (7RC)	23	82.98	269	15	3	0	272	15	3	0	3	52.24	291	
総 計		クラブ数	累計出席率	期首会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減	My Rotary登録率 (8/8現在)	23年7月1日 目標会員数
		60	83.80	3,036	231	94	14	3,107	243	94	14	80	51.38	3,238

*衛星クラブ：行橋COSMOS／福岡東令和あけぼの／福岡南ファミリア／福岡中央エンジョイ／福岡東南けやき／対馬ちんぐ／久留米中央みらい

7月新会員ご紹介 (28RC 94名) ※衛星クラブ

グループ	クラブ名	お名前 (敬称略)	グループ	クラブ名	お名前 (敬称略)	
1	苅田	藤野 雅也	4	博多イブニング	内藤 隆太	
		高橋 美由紀			片伯部 廣太郎	
	田川	関谷 正樹		宗像	常富 公一	
2	行橋	太田 かつよ	5	福岡中央	關 真佐哉	
		若月 健太			佐古井 啓太	
		小倉			鬼丸 有正	江口 裕
					調 弘誓	神崎 依子
	藤嶋 祥二			丸田 哲也		
	徳永 光彦			田中 将人*		
	小倉中央	樋口 利雄		福岡イブニング	菊池 徹彦	
	小倉東	葛谷 隆二		山崎 倫明		
	小倉南	腰地 孝昭		福岡城西	池田 勝彦	
		雨宮 進		福岡城東	善 はるみ	
		鎗木 久道		福岡西	深野 継介	
		萩守 堅司			三好 裕司	
松下 龍二	森山 二郎					
松本 孝幸	田口 智					
小倉西	村沢 一浩	山田 茂伸				
	山本 耕平	山本 江里子				
門司	田上 賢治	博多	上竹原 聖子			
	古嶋 伸二		佐藤 陽一			
3	直方中央		友田 文雄	冬至 竜介		
	遠賀		松尾 陽子	川本 伸二郎		
	八幡	吉田 鉄兵	佐藤 政章			
		神田 雅一	壱岐中央	吉田 奨		
	永野 香代子	住吉 眸				
八幡中央	大塚 絹子	6	久留米中央	大塚 隆夫		
八幡南	加來 真洋			鷹影 充宏		
4	福岡			倉田 大介	野口 圭介	
				荒木 知哉	秋山 怜那*	
				相楽 英希	阿南 貴史*	
				有阪 貴之	稻積 宗一郎*	
				今川 京子	岩佐 浩太郎*	
				左中 樹太郎	真保 亮一*	
			廣瀬 健一	曾俊 傑*		
			溝口 剛	高田 友里恵*		
			秋山 将人	仲 浩二*		
			湯原 克佳	中島 イージン*		
		吉田 篤史	榊谷 広貴*			
		吉村 康宏	森崎 巨樹*			
津江 亘	鳥栖	中村 涼子				
福岡平成		木庭 賢二				
福岡城南	牛 笑青	鬼塚 良太郎				
福岡東南	福岡東南	坂口 晋一郎	筑後	橋本 満成		
		村瀬 廣記*	八女	小坪 洋明		
		佐々木 健一*		平 泰明		
		清原 一貴*	7			

寄付認証者紹介 (7月分)

ポール・ハリス・フェロー

※衛星クラブ

村上 哲二 君 行橋みやこ Multiple	金久保 和 君 八幡西 Multiple
武内英一郎 君 福岡 Multiple	岸野 玲 君 八幡西 Multiple
鈴木 公利 君 苅田 Multiple	井手 国博 君 博多 Multiple
岡田 一夫 君 久留米	山田宏次郎 君 福岡北
讃井加壽賀 君 福岡イブニング Multiple	篠原 隆好 君 福岡城南

米山功労者

表彰回数

表彰回数

西村 正美 君 小倉西 13	小山田浩定 君 博多イブニング 57
江崎 穰 君 門司西 93	内田 良夫 君 福岡城西 9
中原 俊喜 君 糸島 3	森 浩幸 君 大牟田 1
矢野 強 君 苅田 8	岩崎 博信 君 八幡南 1
岡田 一夫 君 久留米 14	加野 資典 君 宗像 7
鶴原 正彦 君 小倉東 10	馬場 貞仁 君 宗像 2
福田 良司 君 小倉東 3	森光 雅敏 君 久留米東 2
田島 昌之 君 柳川 1	

物故会員 (7月分)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



故 木村南樹 会員
(門司西RC)

逝去年月日：2023年6月12日
ロータリー歴：36年11ヶ月
享年：81



故 平山通博 会員
(若松中央RC)

逝去年月日：2023年7月21日
ロータリー歴：41年11か月
享年：82



故 鈴木裕三 会員
(若松中央RC)

逝去年月日：2023年8月10日
ロータリー歴：15年11か月
享年：62

お知らせ

●ホームページ開設のお知らせ

直方ロータリークラブ <https://noogata-rc.com/>

●ロータリー衛星クラブ設立

久留米中央ロータリークラブがスポンサーとなり「久留米中央みらいロータリー衛星クラブ」が2023年7月26日付けにてR理事会より認可されました。

●訂正とお詫び

『月信』8月号、23ページ「6月度会員数増減」に訂正の報告がございました。お詫びして訂正させていただきます。

		(誤)	→	(正)
[行橋みやこRC]	退会	0	→	1
	末日会員数(内女性)	56(4)	→	55(3)
[第1グループ計]	末日会員数(内女性)	226(28)	→	225(27)
[福岡東RC]	末日会員数(内女性)	16	→	15
[福岡東 衛星クラブ]	退会	0	→	1
	末日会員数	15	→	14
[第4グループ計]	末日会員数	644	→	655
[総計]	末日会員数(内女性)	3,017(231)	→	3,027(229)

9月地区内行事予定表

2日(土)	地区危機管理研修会
3日(日)	RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会) パートⅢ
7日(木)	ロータリー財団委員会
8日(金)	地区ラーニング委員会
9日(土)	ロータリー財団補助金管理セミナー 第1回 ローターアクト地区研修会
12日(火)	クラブ運営支援委員会
13日(水)	第2回 ガバナー諮問委員会
14日(木)	会員増強委員会
16日(土)	次年度ガバナー補佐懇談会 青少年交換次年度派遣候補生選考試験 米山世話クラブカウンセラー研修会
21日(木)	インターアクト委員会
30日(土)	RLI研修会受講修了者向け研修会



ロータリーレート確認方法

My Rotary
国際ロータリー為替レート
(<https://my.rotary.org/ja/exchange-rates>)

↓
該当月を PDF 形式でダウンロード

第2700地区ガバナー月信 編集委員会連絡所

月信担当/桑野智彰・宮本由希・井上誉之・梅原健・花田成一・川畑輝雅・橋本道成
連絡先/㈱ 梓書院 ガバナー月信編集局
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代3-2-1
TEL092-643-7075 FAX092-643-7095
E-mail: mail@azusashoin.com

Rotary 国際ロータリー第2700地区 ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル 5F
TEL.(092) 481-2650 FAX.(092) 481-2651

事務所長 E-mail: gocheef@2700rid.com

事務所 E-mail: ri2700go@2700rid.com

〈執務時間〉平日/9:30~17:00 土曜日・日曜日・祝日/休務